

事務事業名		地域医療調査研究事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	04: 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間			
	施策名	17: 生涯にわたる健康づくりの推進						
	基本事業名	02: 地域医療体制の充実			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 21 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入			
根拠法令		県国保連市町村医師養成事業実施規則			予算科目 会計 01 款 04 項 01 目 36			
所属	部課名	生活福祉部国保年金課						
	係名	地域医療係	電話	27-3111				
			内線	149				
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・地域医療の整備促進を図るため、地域の医療体制にかかる研究・調査を行う。 ・調査研究を行うための機関として、地域医療体制検討会を設立する。 ・委員数は11名で気仙医師会との連携を密にして取り組む。					全体計画 (期間限定複数年度のみ)			
					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
							都道府県支出金	
							地方債	
							その他	
							一般財源	
							事業費計 (A)	0
					人件費	正規職員従事人数		
						延べ業務時間		
						人件費計 (B)	0	
						トータルコスト(A) + (B)	0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段 (主な活動)	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)	名称	単位
	ア 招へい医師数 (21のみ)	人
	イ 検討会開催数	回
	ウ	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		
・検討会開催		
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
・委員	名称	単位
	カ 診療所圏域人口 (吉浜、綾里) 21のみ	人
	キ 委員数	人
	ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
・検討会開催数	名称	単位
	サ 診療所患者数 (吉浜、綾里合算) 21のみ	人
	シ	
	ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
・適切な医療サービスの提供		

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	
		単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円				5,830	150	
		事業費計 (A)	千 円			0	5,830	150	
	人件費	正規職員従事人数	人					1	1
		延べ業務時間	時 間					100	50
		人件費計 (B)	千 円				0	400	200
		トータルコスト(A) + (B)	千 円				0	6,230	350
活動指標	ア	人					1	-	
	イ	回					1	1	
	ウ								
対象指標	カ	人					4,377	-	
	キ	人					8	8	
	ク								
成果指標	サ	人					9,800	-	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0133	事務事業名	地域医療調査研究事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

岩手県立大船渡病院医療体制充実対策協議会の中で、県立大船渡病院の勤務医の過重な労働環境が話され、市として夜間医療体制を含む今後の医療体制について検討することを要請された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成21年度に検討会を立ち上げ2回の検討会を開催し、休日当番医を含む時間外診療体制について気仙医師会の会員に対するアンケート調査を実施することとなり、平成22年4月に実施した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

大船渡保健所で開催している気仙地域医療懇談会では、夜間診療所の設置に対する要望があった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 診療体制の充実、市民の生涯にわたる健康づくりの推進に繋がる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 地域医療を守ることは、住民の生涯にわたる健康づくりには欠かせないものであり、住民の願いである。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 効率的な医療体制を確保するために妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ より効率的な体制を構築する必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 医療体制の充実放棄できない
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 他に手段がない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 地域医療の確保は、国、県及び市町村にとって最優先課題の一つでもあり、事業の削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 職員は1人(兼務)であり、削減余地なし。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 地域医療を守ることは、受益対象は全市民であることから、公平、公正な事業である。

事務事業ID	0133	事務事業名	地域医療調査研究事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 1次救急のあり方について、医師会へのアンケートを実施し、その結果を検討会で協議したところ、医師会として関わることにについては時期尚早との意見が多く、震災後の医師会の状況を踏まえ、今後の方向性を模索する。また、県立大船渡病院医療体制充実対策協議会事業との統合し、効率化を図る。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 岩手県立大船渡病院医療体制充実対策協議会事業と統合する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・対策協議会、医療体制検討会是要綱に基づき設置しているが、対策協議会は平成23年3月31日、検討会は平成23年5月27日で任期切れとなる。																								

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者 国保年金課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

医療体制の充実のためにも、より効率的な体制を構築する必要がある。



(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)
事業内容の検討が必要である。



(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	●		×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項